

平成 29 年度  
視察等の届出・報告書  
(届出番号 4~6)

## 平成 29 年度 視察等の届出・報告書（4～6）

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
4	8月2日 ～3日	古南源二	中尾哲雄・原秀樹・ 福井荘助・福島一則	山形県天童市・小国町（給食の地産池消）

議長

副議長

局長

GL

係

回覧



様式第1号

平成29年 7月 7日

真庭市議会

議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 古南源二



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

山形県天童市役所	山形県天童市老森1丁目1-1 ☎023-654-1111
山形県小国町役場	山形県西置賜郡小国町 大字小国小坂町 2-70 ☎0238-62-2111

3 内 容

天童市では、学校給食における地産地消の取組について

小国町では、学校給食における地産地消の取組について

4 行 程・参加者名簿は別紙のとおり 8/2~3

5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



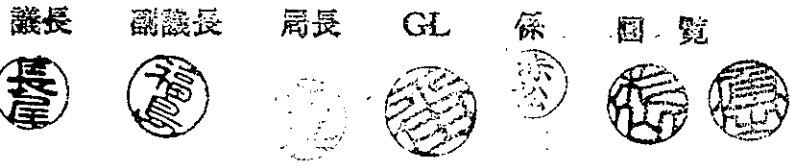
山形県内の学校給食と地産地消の視察研修の行程表

実施日 8月2日～3日

参加予定者 原秀樹 / 古南源二 / 中尾哲雄 / 福井荘助 / 福島一則


真庭市発	車2時間半	伊丹空港発	山形空港着	車14分	天童市視察	山形グランドホテル泊
4:30		7:05	8:20		10:00～11:30	〒023-641-2611
ホテル発	移動1時間20分～2時間	小国町視察	昼食車移動2時間50分	山形空港発	伊丹空港着	車2時間
8:00		10:30～12:00		18:25	19:25	21:30

570



# 報 告 書

平成29年8月15日

報告者 真庭市議会議員 氏名 古南源二 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を代表して報告いたします。

1	日 時	自	平成29年 8月 2日 (午前・午後)	4時 00分
		至	平成29年 8月 3日 (午前・午後)	10時 20分
2	場 所	①天童市学校給食センター 山形県天童市大字小関1266番地		
		②小国町役場 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70		
3	用 件	①学校給食における地産地消の取組について		
		②学校給食における地産地消の取組について		
4	概要			

天童市は、人口約6万2000人、面積約113km<sup>2</sup>。平成15年度から給食センター、建設用地8,153m<sup>2</sup>の取得を始め平成18年度から本体の建設工事に着手、平成19年度に竣工している。土地代金を含め1,078,714千円。施設は衛生面を最優先にHACCPを取り入れており、部屋単位で床の色分け、調理室の入口にはエアシャワー、高い洗浄能力の「食器丸ごと洗浄方式」などを採用しており、2Fから調理状況が見学できる。調理能力は最大一日6500食。小学校3670人、中学校1765人。児童館132人5616食（職員含む）



地産地消の取り組みについては、農林振興課が主体に進めており、平成19年に市内9カ所の直売所（現在7カ所）で組織す



る天童市グリーンツーリズムネットワークが設立され地産地消の情報交換や先進地視察、イベント参加をしています。平成25年度からはこの組織が「軽トラ市」を開催し地域の生産者消費者を結びつけ、地域の活性化にもつながっている。

学校給食では、コメの消費拡大と地産地消を推進するとともに、ご飯を中心とする日本型食生活や児童・生徒の健康に望ましい食習慣の定着を図る為、米



飯給食を週に4.25回実施している。毎月28日は「つや姫の日」で使用している米は県推奨米「つや姫」の1等米を使用し、標準米との差額は天童市農協と市が半分ずつ負担している。また、県内産米の品種による差額は全農山形が負担している。調理と配達は、他市でも請け負っている委託業者が行っている。市役所からは所長、副所長、技能士、とパート事務員、栄養教諭2名（県）が来ている。委託料は110,267千円。

野菜の供給体制は、現在は8品目を供給している。大根や赤根ホウレンソウ（山形野菜で事業所の委託栽培）。

消費量と生産量を調整するための年間栽培暦を作成し、供給量に合うようにしている。

平成 1 26 年度の使用率

大根	ネギ	白菜	ホウレンソウ	赤根ホウレンソウ	カブ	小松菜	中玉トマト
21%	52%	45%	15%	100%	57%	72%	100%

平成 25 年度から米粉の利用を推進している。また、県産牛「山形牛」の認識と理解醸成を計る為、11 月 29 日は山形牛を使った芋煮を提供している。

学校給食における地産地消の推進をすすめており、生産者、生産団体、農協、学校、教育委員会、事業所、家庭、地域等の連携により、学校給食に於いて市内で生産される農産物の利用促進を計画している。学校給食への地場産農産物納入について、生産者や生産者グループ、農協や関係団体の調整を行い地域の食材の利用率向上を図り、学校給食を生きた教材と捉え、地域の特性や食材を生かした食育指導を進めている。生産者等も合同給食で食材の話をしている。

品目	平成 20 年度の使用比率		平成 26 年度の使用比率	
	県内産 (%)	天童産 (%)	県内産 (%)	天童産 (%)
豆加工品	0.2	8.9	84.2	0.4
いも類	1.2	0	5.3	0
野菜	28.5	12.0	30.3	10.6
キノコ類	74.5	0	75.2	0
肉・卵	8.9	0.8	31.5	0.3
合計 15.6	15.6	9.3	34.9	8.2

米粉パン・麺・おかずなどの提供回数

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
米粉パン	年 3 回	年 2 回	年 3 回	年 3 回	年 3 回	年 3 回
米粉麺			年 3 回	年 3 回	年 3 回	年 3 回
米粉おかず、デザート				年 3 回	年 3 回	年 3 回

平成 28 年度の野菜 7 品目の供給実績

品目	供給計画時期	使用数量 kg	納入数量 kg	供給率%	摘要 使用回数
大根	11月～12月	2527.0	2527.0	100.0	21回使用
白菜	11月～12月	1272.3	1272.3	100.0	12回使用
ネギ	8月中旬～12月	2122.0	2122.0	100.0	45回使用、この他に、ネギメンチカツに使用
ほうれん草	4月上旬 3月上旬	4.0	4.0	100.0	1回使用
赤根ほうれん草	11月～12月中旬 1月下旬～2月中旬	604.0	604.0	100.0	8回使用
小松菜	10月中旬～12月中旬 1月下旬・2月	876.0	876.0	100.0	13回使用
大カブ	12月上。下旬	253.0	253.0	100.0	1回使用
合 計		7658.3	7658.3	100.0	
平成 27 年度		8267.7	8267.7	100.0	
平成 26 年度		9629.7	9629.7	100.0	
平成 25 年度		8121.9	8121.9	100.0	
平成 24 年度		11356.1	9772.1	86.0	

考察

天童市に於いては、学校給食の地産地消の推進のために市役所農林課を中心に関係団体との調整を図ってきた。中でも市内小売店との調整は難航していた。山形県も地産地消の推進に前向きであり、JAも協力していた。納品にしても厳しい規格や洗浄作業が必要であり、生産者も供給量の確保など大変である。真庭市に於いても地産地消を進めるにあたっては、相当な努力が必要であろう。



小国町は、人口約 6200 人。面積約 740 km<sup>2</sup>。93%が山林であり、そのほとんどが国有林であり、ブナなどの広葉樹が広がっている。ブナの樹皮が白く見有る事から「白い森 おぐに」をキャッチフレーズに、ロゴマークと共に商標登録をしている。中心部で雪は2m、周辺部では4mの降雪がある。



市内には小学校 1 校、中学校 1 校、小・中一貫校が1校ありその給食をセンター方式で賄っている。昭和 47 年に農家の女性を中心に小国駅周辺で野菜の直売をしていた過去があり、平成 14 年にはJAかあちゃん市場の組織が 17 名で設立され、以降生産者の変動屋名称変更などあり平成 26 年に小国小学校の建て替えがあり、同時に町野菜生産組合が 23 名で設立され、学校給食を中心に地産地消を推進し、9 月から学校給食に供給を始め、新鮮で安全な農林水産物の生産を通じて地場産農林水産物の生産振興を図っている。

学校給食への提供は 3 品目であり、その供給量は次のようである。

	27年度%	28年度%	増減比	29年度目 標	備考
タマネギ	19.5	27.4	7.9	35.0	
キュウリ	18.7	35.0	16.3	51.0	
長ネギ	14.9	43.8	28.9	72.0	
全体	26.3	25.7	-0.6	30.0	

行政が中心となり推進に力を入れてきた。平成 14 年に小国町地産地消推進協議会を立ち上げ、構成員は小国町、教育員会、農業委員会、商工会、観光協会、森林組合、農協、町立小学校、保育連絡協議会、認定農業者協議会、周防日者団体等。会長：小国町長、事務局：産業振興課。

町内 3 カ所のスーパーがあり、地場生産者が学校給食に食材を提供することに抵抗があり、その調整に市役所が奔走していた。「地元のおいしいものを子供たちに食べさせてあげよう」ということで理解をして頂き、小売店の納得を頂いた。生産者団体で

急ぎよ賄いきれないものについては3つのスーパーで調達しているが、快く受けて頂いている。その調整は、産業振興課内に臨時職員を置いて学校発注と生産品目の調整を行っている。給食の1等米との価格差は全農山形が補てんして貰える。

現在の小国町の給食を取り巻く環境や、小国町野菜生産組合の体制を考慮すると学校給食で使用する野菜全体への供給量はおおむね30%程度が限界であろう。

収穫時期が集中し、年間を通したバランスのいい多品目の野菜に対応できないことや、収穫量の多い夏場に夏休みがあり、供給量が伸びない。また、組合員の供給メリット(経済性)が少なく、事業の継続性に懸念などがあげられる。

今後は、野菜の保存に行く室野利用を考えるなど加工に関する事業を検討し、給食への供給量の増加を図るとともに、組合員が野菜の加工販売が出来る、仕組み作りが求められる。

### 考察

小国町では、町内小売業者との調整に苦慮した経緯がある。また生産者の継続性が懸念され、加工品の開発も視野仕入れた展開を計画している。真庭市での取り組みで参考になる点は、多くの関係者を巻き込んだ協議会の設置と共に行政職員の地道な努力と、JAの協力が得られるかがカギになるように感じた。

以上参加者の意見を反映し、代表して報告書とします。 古南源二

山形県内の学校給食と地産地消の視察研修の行程表		実施日 8月2日~3日	
参加者		原秀樹 古南源二 中尾哲雄 榎井祐助 福島一則	
真庭市発 車2時間半	伊丹空港発	山形空港着	車4分
4:00	7:05	8:20	10:00~11:30
ホテル発		移動時間20分~2時間	小国町視察
8:00			10:30~12:00
		昼食休憩時間50分	山形空港発
			18:25
		伊丹空港着	車2時間
			19:25
		真庭市帰着	22:20

費用一覧表	費用	個人割
航空機往復代	332,000	64,400
ホテル代	45,000	9,000
山形のレンタカー代2日間	31,900	6,380
ホテル駐車場代	500	
山形のレンタカーガソリン代	2,858	
山形高速代	290	
市内駐車場代	250	
手土産4個代	4,960	
真庭のレンタカー代2日間	19,440	
真庭のレンタカーガソリン代	3,886	
大阪往復高速代	8,580	
大阪空港駐車場代	4,630	
相互費用合計	45,394	9,078
政務活動費充当分		88,858

出会った人

天童市議会

議長 鈴木 照一



〒994-0210 天童市若野一丁目1番1号  
TEL 023-654-1111  
〒994-0113 天童市若野一丁目7番11号  
TEL/FAX 023-654-216X  
E-mail: [redacted]



天童市教育委員会  
学校給食センター所長

萩生田 伸悟  
HAGIHITA Shingo

白い森

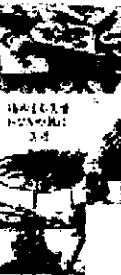


天童市議会事務局

副長兼 行政主査  
村山 広子

〒994-0004  
山形県天童市大字小橋1266番地  
TEL 023-654-2111  
F 023-654-5966  
hagihita@city.tendo.yamagata.jp  
http://city.tendo.yamagata.jp

〒994-0004  
山形県天童市大字小橋1266番地  
TEL 023-654-2111  
F 023-654-5966  
E-mail: [redacted]



天童市議会事務局

局長補佐(兼)総務課長  
加藤 博之

〒994-0610 山形県天童市若野一丁目1番1号  
TEL 0231-654-1111 内線354  
FAX 0231-654-4018  
E-mail: [redacted]

白い森

〒994-0004 山形県天童市大字小橋1266番地  
TEL 023-654-2111  
F 023-654-5966  
E-mail: [redacted]



天童市教育委員会

学校給食センター 副所長  
大戸 正義

〒994-0004 山形県天童市大字小橋1266番地  
TEL 0231-654-2441  
FAX 0231-654-3460  
E-mail: [redacted]

山形県立天童高等学校  
学校給食センター所長  
小野 正典

翠 藤 勉

白い森

〒994-1903  
山形県天童市大字小橋1266番地  
TEL 0233-62-1458  
FAX 0233-62-1464  
E-mail: [redacted]



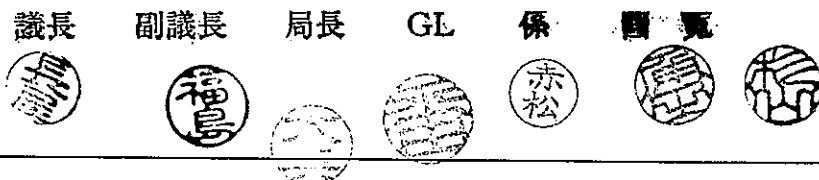
山形県学校栄養士協議会

天童市学校給食センター  
栄養教諭

〒994-0004  
山形県天童市小橋1266番地  
TEL 023-654-2441 Fax 023-654-3460  
E-mail: [redacted]

## 平成 29 年度 視察等の届出・報告書 (4~6)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
5	7月30日 ~31日	緒形尚		東京都・(株)地方議会総合研究所(質問力 向上セミナー)



様式第1号

平成29年 7月 7日

真庭市議会  
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 緒形 尚 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

1. 東京：アットビジネスセンター池袋駅前別館

3 内 容

研修会：自治体の政策を考え質問力を向上させる in東京  
1. 「政策議会」と市民参加・質問力でいなる「政策議会」講師：土山希美枝氏  
1. 政策・制度と自治体 2. 政策議会とはなにか 3. 政策議会の市民参加  
4. 政策議会の政策力を発揮する 5. 自治体議会の「再構築」  
6. 一般質問のしくみと機能 7. たかが一般質問、されど一般質問  
8. 一般質問がもつ課題の現状と背景 9. 政策議会の資源としての一般質問

4 行 程 別紙のとおり (7/30~31)

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること

● 研修会行程表

7月30日(日)

10:00

真庭市役所

| 車

落合IC

|

賀陽IC

|

岡山空港

12:20

| ANA656便

羽田空港

13:40

| 歩く 200m (3分)

羽田空港国内線ターミナル駅

15:04

| 東京モノレール・空港快速  
2駅 (17分)

浜松町駅

15:21

| 歩く 70m (1分)

浜松町駅

15:28

| JR山手線・各停  
15駅 (30分)

池袋駅

15:58

| 歩く 700m (8分)

ホテルリソル池袋

16:06

7月31日(月)

ホテルリソル池袋

| 歩く 650m (8分)

アットビジネスセンター池袋駅前別館

17:21

| 研修 (10:00~12:30、14:00~17:00)

池袋駅

17:26

| JR山手線・各停・上野方面  
15駅 (30分)

浜松町駅

17:56

| 歩く 70m (1分)

浜松町駅

18:03

| 東京モノレール・空港快速  
2駅 (16分)

羽田空港国内線ターミナル駅

18:19

| 歩く 200m (3分)

羽田空港

20:10

| ANA657便

岡山空港

21:30

賀陽IC

22:10

落合IC

22:50

真庭市役所


23:10

様式第2号

# 報 告 書

平成30年 3月 30日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 緒 形 尚 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成29年 7月 30日 (午前・午後) 9時 00分 至 平成29年 7月 31日 (午前・午後) 7時 00分
2	場 所	東京：アットビジネスセンター池袋駅前別館 東京都豊島区東池袋1-6-4
3	用 件	自治体の政策を考え質問力を向上させるin東京  政策議会と市民参加・質問力でになう政策議会、講師：土山季美枝氏 1. 政策・制度と自治体 2. 政策議会とはなにか 3. 政策議会の市民参加 4. 政策議会の政策力を発揮する 5. 自治体議会の再構築 6. 一般質問のしくみと機能 7. たかが一般質問、されど一般質問 8. 一般質問がもつ課題の現状と背景 9. 政策議会の資源としての一般質問
4	概 要	別紙にて報告



● 参加者 : 緒形 尚

● 自治体の政策を考え質問力を in 東京 : 講師・土山希美枝氏

自治体の役割として、市民に必要不可欠な政策や制度を整備する(対応必至の課題解決のための取り組みを行う。自治体政策の最小単位は事業である。事業のかたまりが政策である。目的と手段の組み合わせを政策という。政策や制度があつてはじめて市民生活が成り立つ社会である。政策や制度が、社会生活に大きく影響していて、政策の担い手は、市民・企業団体・国や自治体と多様化している。

市民の付託、何を付託されているのか。何を信じて託されるのか。必要不可欠な政策や制度を整備することより、よりよい政策や制度としていくことが重要だ。議会・執行部(二元代表制)ともに、それを目標として、そのための異なる権限を与えられている。どの政策や制度の効果がどうか議論で決断するしかない。正解がないから議論して決める。

議会報告会と意見交換会、心が折れない議会報告会にするために報告から対話へ、目的と価値を転換する。会をするための工夫をする。議会報告会に来た人が、来て良かったといってもらえるような報告会にする必要がある。そこには、議会だからできる市民参加の方法がある。例えば、ワークショップ、ワールドカフェ、沖縄式地域円卓会議など手段は多くある。市民との対話・議論を議会の強みにすることが重要だ。議会の中でも取り組むことは大切で、議会のベスト質問賞を作ったり、議会だよりに一人ひとりの議員を紹介するコーナーを考える(私服の議員)高校生との意見交換も大切である。

議会はチームになれるか。議会力(議員力の総和)はどれくらいあるのか。政策を展開するのは議会である。議員間の自由討論も制度は整えたが運用はされていない議会が多い。争点性と機会性、まちの現状から政策や制度をめぐる課題を取り上げ、市民に示し共有する。議会にとっての争点の重要性を認識する。

一般質問は義務ではない。議員として、こうしますと言って当選したのではなく、市政の課題について対応している。政治家としての顔と、議員としての顔がある。二つの顔を一致させて、市政に監査機能・政策提案機能を果たす重要な機会である一般質問と捉えれば良い。

※ 土山先生のセミナーを受け、今後の一般質問に活かしていきたいと思った。たかが一般質問、されど一般質問、政策は必ずリスクがあり、やらない方が市民から文句を言われない。主張・分析・事実(論点の重要要素)の確認を行い、質問力の向上を目指して議員としての質問力になるよう努めることとする。



平成 29 年度 視察等の届出・報告書（4～6）

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
6	7月30日 ～31日	福島一則	古南源二・原秀樹・ 福井荘助	東京都・（株）地方議会総合研究所（質問 力向上セミナー）

議長

副議長

局長

GL

係

国 覧



様式第1号

平成29年7月13日

真庭市議会

議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 福 島 一 則



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分                      調査研究      研修会      要請・陳情活動
- 2 訪 問 先                      東京、アットビジネスセンター池袋駅前別館
- 3 内 容                      7/30-31  
「政策議会」と市民参加  
質問力でになう「政策議会」

参加者名簿              原秀樹。福井荘助。古南源二

注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



日程

30日(日) 久世15:00分発・・岡山自動車道・・岡山空港16:40分発

17:56羽田空港着～~~赤坂陽光ホテル~~泊  
赤坂陽光ホテル池袋

31日(月) 10:00～12:30分 研修

14:00～17:00分 研修

17時30分池袋駅～浜松駅～羽田空港20:10分発～岡山空港

様式第2号

# 報 告 書

平成29年 8月 2日

報告者 真庭市議会議員 氏名 福 島 一 則

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたのでその結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成29年7月30日（午前・午後）15時00分 至 平成29年7月31日（午前・午後）23時00分
2	場 所	東京都豊島区池袋、アットビジネスセンター池袋駅前別館 ----- ----- -----
3	用 件	政策議会と市民参加、質問力で担う政策議会 ----- 自治体の政策を考え質問力を向上させ、自治体運営、事業の ----- 執行の状況、効果など検証、評価し執行機関などのチェックする ----- 機能、一般質問が機能を発揮するための勉強

参加者 福島一則、原秀樹、古南源二、福井荘助

